

Vol.141 君津市民ふれあい祭りを終えて（平成20年8月10日）
―祭りとはそのまち、そのむらの連帯感、郷土愛、感謝、活力の表現であります―

雨が降らぬ日が半月も続いた、まさに夏の真っ盛りの8月2～3日の市民ふれあい祭りでした。

今年は会議所が実行委員長当番でしたので、人出を大変心配いたしておりました。

そんな心配や暑さを吹き飛ばしてくれたすばらしい祭りでありました。

ありがとうございました。

1日目、新日鐵工場、洋上見学、先着1200名も満船、スポーツ広場も暑さを忘れさせる声援の中で湧いていました。その夜の亀山湖の花火大会には5千発の大花火が山々にこだまして大観衆をどよめかしてくれました。各地から動員したバス30台には乗り切れず抽選となっていました。

2日目のメインイベントの『いやさか踊り』46連、2700余名の多くの方が参加して下さり、広場、沿道を埋め、応援して下さり立錐の余地のない大群衆となって3万7千人を超えたと報道されました。

特に、きみつ夢未来大使『J』サニー千葉さんも多忙の中駆けつけて下さり、急遽『夢未来チーム連』を編成、鈴木市長、川名県議、石井県議、篠森議長、四塚自治連会長、坂井観光協会会長、そして私も加わって踊りの輪の中へと参加いたしました。

千葉さんの参加は、沿道各所から市民達の歓声があがり、祭りに大きな花を添えてくれました。

それにしても『踊り』とは大変疲れるものでした。

まさに年のせいか重労働でありました。

改めて踊って下さった方々へのご慰労を申し上げます。

『市民ふれあい祭り』とは、その名の通り市民あげての祭りであります。

そのまち、そのむらの連帯感、郷土愛、感謝、活力の表現であります。

この祭りの幕開けと共に、市内各所で盆踊り、夏祭り、そして秋祭りが盛んに行われます。

どうか『むら祭り』として終わることなく、お互いに誘い合って親睦交流、連帯感を深めていただき、夢と誇りのある君津市民の祭りとして大きく育てて下さい。

今年も8月9日の貞元の盆踊りから始まって、毎年坂田、空師の八幡神社、御霊神社、大宮神社、久留里城祭り、大原神社、小櫃ふるさと祭りに招かれており、まだまだこれからです。

暑さに負けず、病気にならぬよう、お元気で夏の良い思い出を残して下さい。

終わりに、来年は女性会を中心に会員、青年部も加わり『大連』を組んで、是非優勝を目指したいものです。一寸工夫してペンライトを振るとかアピールしたら・・・？

最後、この祭りを支えてくれた職員の方々のご苦勞、お骨折りを皆様にご報告し、皆様と共に感謝を申し上げます。

お願い・・・祭りが終わった夜10時頃まで、翌早朝7時頃前から、女性会、青年部、職員の方達が清掃をいたしております。

改めて会員の方達へこの事をお伝えすると共に、来年は是非終わった後の奉仕活動へも御配慮下さる様ご報告をお願いを申しあげ、市民祭りを成功裡に終わらせて頂きましたことのお礼のごあいさつとさせて頂きました。

